

「民学産公」協働研究事業成果報告書

研究事業名：武蔵野コッツウォルズ・森の地図プロジェクト

平成 26 年 2 月 28 日

一般社団法人武蔵野コッツウォルズ

目次

1	「民学産公」協同研究事業の概要	3
2	幹事（申請）団体のプロフィール	3
3	協働研究事業参加団体のプロフィール	4
4	協働研究事業の企画・実施の背景	6
5	協働研究事業の詳細	7
6	実施結果	8
7	結果の考察	8
8	今後の計画	9

◆成果物

<写真>

・「スタンプラリー台紙兼ラリーガイド（店舗紹介）」	10
・「オリジナル・ポストカード」	11
・「達成賞書」	11
・「記念缶バッジ」	11

以上の成果物は、現物も添付

◆資料

・資料1 第3回「森の地図・スタンプラリー」実施データ	12
・資料2 スタンプラリー達成者の感想（抜粋）	13
・資料3 「おもてなし」サービス参加店舗の声（抜粋）	16

「民学産公」協働研究事業 成果報告

研究事業名：武蔵野コッツウォルズ・森の地図プロジェクト

1. 「民学産公」協働研究事業の概要

東京・武蔵野には、半径約5kmの円を描くと、その中に12の都立公園が収まるグリーンスポットが存在している。この場所には、豊かな緑と東京ならではの文化施設や店舗が共存しています。本事業は、自然と都会がともにある稀有の地域特性に着目。地図上の行政の線引きを超えた視点で新しいサービスの創出に取り組み、市民の健康増進と地域店舗や文化施設が一段と活性化することに貢献。さらには東京都の観光力向上に寄与することを目的とします。

【実現施策】

- A 人々が回遊するのに役立つMAPを作製、提供する。
- B 地域の店舗や施設との協働で、訪問者へのサービスを提供する。
- C 人々が回遊するのに役立つツール（自転車など）を提供する。

上記3施策の内Aは、昨年度の協働研究事業のテーマとして実施したので、今回の協働研究事業では、Bの訪問者へのサービスの提供を主に実証実験を行う。

2. 幹事団体のプロフィール

一般社団法人武蔵野コッツウォルズは、緑豊かな「むさしのエリア」を人々が健康的に回遊するための仕組みづくりを目的に設立された。2011年10月に、内閣府雇用創造事業・みたか社会的人材創出コンソーシアムビジネスコンペティションで奨励賞を受賞。2012年2月、一般社団法人として法人化。2012年7月、NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構「民学産公」協同研究事業に採択され、地域の観光協会などと連携してプロジェクトをスタート。2013年11月、引き続きプロジェクトを推進している。

■工程

- | | | |
|-------|-----|---|
| 2011年 | 10月 | 内閣府雇用創造事業・みたか社会的人材創出コンソーシアム
ビジネスコンペティション 入賞（奨励賞） |
| | 11月 | 「武蔵野コッツウォルズ」事業化準備スタート |
| 2012年 | 2月 | 「武蔵野コッツウォルズ」を一般社団法人として法人登記 |
| | 3月 | 『 - 森の地図 - 武蔵野コッツウォルズ』を商標登録 |
| | 4月 | ホームページ・プレオープン／バーチャル空間の構築開始 |
| | 6月 | ホームページ基盤、概要MAPの完成
NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構「民学産公」協働研究事業に
「森の地図・プロジェクト」を応募 |
| | 7月 | リアル空間の構築開始
・回遊用MAP制作開始 |

- 「民学産公」協働実験事業に「森の地図・プロジェクト」が採択
- 9月 「民学産公」実証実験準備スタート
- ・各種広報活動
 - ・協力店舗募集活動
- 10月 実証実験開始
- ・リアル空間での「イメージMAP」無料配布
 - ・関係団体との相互リンク、協力関係推進
- 11月 実証実験推進
- ・「むさしの周遊MAP」セットの販売開始
 - ・協力店舗と連携したサービスの提供
 - ・第1回「森の地図・スタンプラリー」ー紅葉編ーの実施
11月3日～12月9日
(財)東京都公園協会、西武・武蔵野パートナーズとの共同開催
- 2013年 4月 第2回「森の地図・スタンプラリー」ー花と緑とミュージアム編ー
4月27日～6月9日の日程で、小金井市、府中市、三鷹市、調布市
エリアで実施。
- 11月 第3回「森の地図・スタンプラリー」ーなつかしさにホッコリの秋編ー
を「民学産公」協働実験事業として、11月2日～12月1日の日程で実施。

3. 協働研究事業参加団体のプロフィール

■企画協力団体

- ・NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構
- ・株式会社まちづくり三鷹

■スタンプラリー共催団体

- ・公益財団法人東京都公園協会
(東京都内の公園の管理・運営)
- ・西武・武蔵野パートナーズ
(多摩地区にある都立公園の指定管理団体)

■スタンプラリー協力団体

＜スタンプラリーの台紙等の配布にご協力＞

【地域の観光協会等】

- ・みたか都市観光協会
- ・武蔵野市観光機構
- ・調布市観光協会
- ・府中市観光協会
- ・黄金井の里（小金井市）

- ・国分寺市観光協会

＜スタンプラリー(第4回)のラリーポイントとしてご協力＞

【地域の文化施設、公園、店舗】

- ・史跡の駅・おたカフェ（国分寺市）
- ・殿ヶ谷戸庭園（国分寺市）
- ・江戸東京たてもの園(小金井市)
- ・浴恩館公園（小金井市文化財センター）
- ・滄浪泉園(小金井市)
- ・農工大科学博物館(小金井市)
- ・野川公園（自然観察センター：調布市、三鷹市、小金井市）
- ・武蔵野の森公園（新サービスセンター、府中市）
- ・水車経営農家(三鷹市)
- ・星と森と絵本の家（国立天文台内、三鷹市）
- ・鬼太郎茶屋（調布市）

＜地域協力店舗＞

【おもてなしサービス店舗】

- ・史跡の駅・おたカフェ（国分寺市）
- ・ラーメン熊祥（くまよし）（国分寺市）
- ・うどんカフェ・ライトハウス（国分寺市）
- ・カフェスロー（国分寺市）
- ・キニョン（国分寺市）
- ・田舎うどん かも kyu（小金井市）
- ・たべもの処「蔵」（小金井市）
- ・ライトハウス（小金井市）
- ・カフェ 武蔵野茶房（小金井市）
- ・カフェドペリーヌ（小金井市）
- ・くりやぶねー江戸東京野菜ー（小金井市）
- ・オープンミトン・カフェ（小金井市）
- ・中村文具店（小金井市）
- ・プーランジェリー・テール・ヴィヴァン（府中市）
- ・御狩野（三鷹市）
- ・ビストロ アン・プティ・ポン（三鷹市）
- ・Oeuf（ウフ）（三鷹市）
- ・大沢ハーモニー／オー・ソレ・ミオ（三鷹市）
- ・江川亭（三鷹市）
- ・玉乃屋（調布市）

- ・鬼太郎茶屋（調布市）
- ・曼珠苑（まんじゅえん）（調布市）

■協力企業・デザイナー等

【印刷関連】

- ・株式会社プリエイト
スタンプラリー台紙など印刷全般

【制作・デザイン関連】

- ・有限会社フィン
取材・編集・データ作成など制作全般
- ・竹内美咲
イラスト制作、デザイン全般
- ・有限会社山崎印房
スタンプラリーのスタンプを制作

【配布関連】

- ・東京都観光財団
イメージMAP等を都庁観光案内所などで設置・配布
- ・国分寺市（後援）
- ・府中市（後援）
- ・小金井市（後援）
- ・三鷹市（後援）
- ・調布市（後援）

4. 協働研究事業の企画・実施の背景

団塊の世代のリタイア、本格的な高齢化社会の到来で、人々の余暇活動や健康に対する関心が高まってきている。一方で、IT社会の進展で、日常生活におけるリアルな体験や生身の人間と接する時間は減少傾向にある。また、大都市東京では、緑の中で健康的な活動をする空間も限定されている。

東京都のほぼ真ん中に位置する多摩地区東部には、緑に恵まれ、文化的な施設も充実した地域が存在する。この地域を人々が健康的に回遊できるしくみを構築し、それを人々の健康増進や予防医療、さらには地域経済の活性化や発展につなげていくのが、武蔵野コッソウォルズの「森の地図プロジェクト」。これを推進していくためには、地域社会や関係諸団体との連携が必須となる。また、このプロジェクトは、これまでにない仕組みを構築する試みで、いくつかの実証実験を経て道を切り拓いていくものである。

このような社会的背景と事業の性格から、「民学産公」協同研究事業は「渡りに船」的な存在であり参画に到った。

5. 協働研究事業の詳細

■第3回「森の地図・スタンプラリー」11月2日(土)～12月1日(日)

「武蔵野コッツウォルズ」の事業コンセプト(空間提示)は、2012年にスタートしたもので世の中にはまだまだ認知されていない。そのため、認知を広げる広報的な活動も兼ねて「森の地図・スタンプラリー」を企画・運営している。今回は、第3回であるので、第2回同様、テーマを定めて行った。今回のテーマは、なつかしさをを感じる建物やモノに出会うこと。地域は、国分寺、小金井、府中、三鷹、調布エリアで行った。ラリーポイントは、地域の文化施設、都立公園のサービスセンター等に加えて、今回初めて地域の店舗に参加してもらい、計11か所で実施した。また、ラリー達成者に進呈する記念品として、今回から「達成賞書」を制作。これは、継続的に進呈するものとして、参加者の達成感を高め、リピーター率を高める効果もできるものである。今回の制作にあたって、過去の達成者にも遡り進呈した。

■おもてなし(地域ネットワーク構築)

回遊者の満足度を高めるうえで、地域店舗をネットワーク化し来訪者をもてなすサービスを充実させていくことがこの事業の大きな課題のひとつである。今回はそのひとつの試みとして回遊時に休憩、軽食が取れるカフェや飲食店、今回のスタンプラリーのテーマにふさわしい店舗にご協力を依頼した。協力依頼内容は以下の通りである。

- ・おもてなしの実施
- ・店舗情報のスタンプラリー台紙やホームページへの掲載
- ・スタンプラリー台紙の頒布

今回の対象地域の国分寺市、小金井市、府中市、三鷹市、調布市で営業を行う22店舗が参加し、スタンプラリーに連動した「おもてなし」サービスを行った。「おもてなし」とは、以下のサービスである。

① 本プロジェクトで制作したポストカードセット(2枚組)を進呈

※ポストカードは、地域で目にすることのできる野鳥や景観を題材としたもので、8枚の絵柄から任意に2枚をセットしたもの。

+

② お店独自のサービス

※店舗の過大な負担にならないよう、そのときどきで提供できる「おまけ」的なものとした。「おまけ」の内容は固定しなくても可とした。

(例) クッキー1個、ラーメンにのせるトッピング、ミニ蕎麦、10%割引など

このおもてなしを受けるためには、対象エリア(ブロック)のラリーポイントのスタンプを1個以上押してあり、それを店舗利用のオーダー時に提示することとした。

6. 実施結果

■スタンプラリー

推定約 3,000 名が参加。8 か所以上のラリーポイントをクリアし、記念品交換に応募された方は 78 名で、目標の 100 名には届かなかった。

＜詳細は資料 1＞

■おもてなしサービス（地域ネットワーク構築）

参加 22 店舗で、「おもてなし」を受けた延人数は、99 名であった。1 店舗あたりとすると、4～5 人程度となる。

7. 結果の考察

■スタンプラリー

第 1 回の達成者（記念品応募者）46 名、第 2 回の達成者 127 名に対し、第 3 回は、78 名であった。達成者の数がいまいち伸びなかった一因にスタンプラリーの終盤になって、一部のラリーポイントで台紙の在庫切れが発生し、補充がなされていないところが存在していた（過去 2 回に比して終盤の達成者の伸びが鈍かった）。しかし、同じ秋に実施した第 1 回よりは大きく増えており、第 2 回（春の実施）は、ゴールデンウィーク効果が大きであったことが推測されることから、まずまずの参加者数であったと言える。参加者が活発に活動するのは、休日であることから、今後若い世代（大学生など）の参加を促進する際には、春休みなどの時期の開催も検討の余地がある。

また、今回から達成者が記念品の応募時に提出する用紙にコメント記入欄を設けたことにより、さまざまな声を吸い上げることができた（資料 2）。

■おもてなし（地域ネットワーク構築）

スタンプラリー参加者に地域店舗の利用を促進するため。全 11 のラリーポイントを 4 つのエリアに分け（1 エリア、2～3 ポイント）、該当エリアのスタンプをどれか 1 個押すことを義務づけることで、地域参加店舗へのお客様の誘導を図った。「おもてなし」を受けた延人数は 99 名で、1 店舗あたりとすると 4～5 名ということになる。参加店舗の声は、資料で掲載するが（資料 3）、スタンプラリーの参加者であっても、サービスがあることを知らなかった方、あるいはサービスを申し出なかった方が相当数いたものと思われる。

また、当スタンプラリーは、達成者への記念品進呈を先着 100 名とし、これまで実施してきた。これが起因し、一部の参加者では早くスタンプを集めることに重きをおくことで、途中の過程を楽しむことが希薄になってしまう傾向がある。それが、途中で店舗に立ち寄りゆっくりと休憩する、おもてなしを受けることに繋がらなかったとも考えられる。これは一般的なスタンプラリーの特徴だが、当スタンプラリーはのんびりと楽しむことが最大の特長なので、先着順制度自体が矛盾するものなのかもしれない。

■総括

今回のメインテーマである「おもてなしサービス」の実施によるスタンプラリー参加者

の地域店舗への誘導は、数字的には十分な成果があったとは言えない。今後は、サービスの内容、実施方法でより深い検討を要する。サービスをする側にも、受ける側にもわかりやすいスタイルの確立が求められる。中でもサービスが行われていることを告知するPOPの作成は、必須である。また、結果の考察でも触れたが、記念品進呈を先着制にしている点も改善していきたい。

今回、2回めの民学産公協働実験事業参加を通じて、地域の各行政、観光協会や店舗、また公園を管理する指定管理者など関係団体との連携がより深まり、共同で開催した散策ツアーなど活動に広がりが生まれてきたことは、大変有意義なこととして今後に活かしていきたい。当事業の認知の広がりも、確実に浸透していることを実感するものである。

8. 今後の計画

■回遊手段の整備

●東京都「地域資源発掘型実証プログラム」による実証実験

第4回スタンプラリー実施時に期間限定（2014年3月1日～16日）でレンタサイクルの導入実験を行う予定。これは、2013年秋に、中央線の高架下で始まったコミュニティサイクル、Suicle(スイクル)と連携するもので、JR中央線東小金井、武蔵境近辺と京王線調布駅近辺の3か所にサイクルポートを設置し、相互に返却可とし地域回遊の利便性を高めるものである（都心部からの動員も図りたい）。

●フリーパス（バスなど）の検討

移動の交通手段として、自転車の他にバスを中心とした「フリーパス」の可能性を検討していきたい。まずは、現状のシルバーパス（70歳以上無料）の利用促進を軸に諸問題を検討、幅広い人に活用していただけるような運用携帯を模索、関係団体との交渉等を行っていく。

■認知の拡大

●第4回「森の地図・スタンプラリー」の実施

地域を広域に回遊するスタンプラリーは、健康的な活動を提供する具体的な活動として、また、事業コンセプトの認知を広げるメディアとして最適なものである。今後も春と秋の年2回開催を続けていくことで、地域に根付いたイベントとして定着していくことをめざしたい。第4回は、「早春の武蔵野をめぐる編」として実施する予定である。

●各種広報活動を活性化

マスコミなどへの情報提供やフェイスブックなどのSNSを活用した認知の拡大を図る。

■出版物の企画・販売強化

すでに制作済みの地図セットの販売ルートを確立する。地域情報誌などの販売に積極的

な書店を中心に販路を開拓する。一方でプロジェクトのコンセプトに合致する新規出版物（地図・手帳・地域情報・回遊ノウハウ系）を企画し、ラインナップの充実を図る。

■ネットワークづくりの推進

武蔵野コッツウォルズの空間が認知され、繰り返し訪れていただける空間となるためには、来訪者に特別な満足感を提供できる店舗のネットワークが欠かせないものとなる。今回の実証実験の知見をもとに、どのようなサービスがふさわしいのか、ネットワークのありべき姿を、広く意見を集めながら推進していきたい。

【成果物】 現物も添付

■スタンプラリー台紙兼ラリーガイド（店舗紹介）

●エリアMAP 頁（一部）



●イベント紹介頁



【オリジナル・ポストカード】（8枚組）



■スタンプラリー達成者記念品

【達成賞書】（カリグラフィーでお名前を手書きしたもの）



【記念缶バッジ】（2個セット）



資料1 第3回「森の地図・スタンプラリー」実施データ

第3回「森の地図・スタンプラリー」 2013年11月2日～12月1日実施

【データ明細】 推定参加者数約3,000名

達成・応募者数：78名

男：女＝39：39

施設名	イメージマップ配布数	ラリー台紙配布数	中跡の駅・おたカフエ	達成者・訪問(スタンプ)数	達成者・居住地	達成者・年齢
中跡の駅・おたカフエ	400	300	中跡の駅・おたカフエ	47 三鷹	18 0～9	4
股ヶ谷戸庭園	1,400	1,000	股ヶ谷戸庭園	50 府中	7 10～19	1
江戸東京たてもの園	287	688	江戸東京たてもの園	58 武蔵野	10 20～29	4
浴恩館公園	120	49	浴恩館公園	58 西東京	1 30～39	12
滄浪泉園	332	210	滄浪泉園	45 小金井	13 40～49	16
農工大科学博物館	170	130	農工大科学博物館	57 調布	15 50～59	20
野川公園 自然観察センター	1,000	859	野川公園 自然観察センター	73 国分寺	3 60～69	11
武蔵野の森公園	397	184	武蔵野の森公園	66 小平	3 70～79	6
水車経営農家	200	71	水車経営農家	55 その他都内	7 80～89	3
星と森と松本の家	363	400	星と森と松本の家	61 都外	1 不明	1
鬼太郎茶屋	600	600	鬼太郎茶屋	54		
合計	5,269	4,477	総スタンプ数	624	78	78

※アミがけをした、股ヶ谷戸庭園(150円)、水車経営農家(100円)は、スタンプ台を有料エリアに設置。

※イメージマップとラリー台紙は、ラリーポイント以外でも台紙での紹介店舗や自治体その他で配布しており、総配布数は以下の通りである。

■イメージマップ総配布数 … 7,304枚
■ラリー台紙総配布数 … 6,081枚 ⇒ 推定参加者数、約3,000名(ラリー台紙を手にした人の2人に1人がスタンプを1個以上押したと推定)

2013年12月27日集計
武蔵野コップウォールズ

資料2 第3回スタンプラリー達成者の感想(抜粋)

- ・大沢の里の特別公開が見られてよかった。スタンプ用紙がツルツルしすぎてスタンプを押してもインクが他につきやすいのが少し困った。次回も参加したい。
- ・さわやかな秋の二日を楽しみました。この機会に初めて行けた所もあり、良かった。
- ・色づき始めた公園を歩いたり、初めて足をのばした庭園等、楽しむことができました。
- ・次回もまたやって！
- ・市報で知りはじめて参加しました。2日間で8カ所、迷いながら楽しくサイクリングしました。
- ・今回初めて参加させていただきました。武蔵野の良さを改めて感じる事ができました。そして、散歩の楽しみも増えました。また、参加したく思います。ありがとうございます。
- ・飛行場を2周してやっとみつけた武蔵野公園のスタンプ。西国分寺駅から武蔵小金井まで、お鷹の道や庭園をめぐりながら歩いてまわる。よい散歩になりました。
- ・これから毎年やってほしいです。今年も素晴らしいサイクリングでした。
- ・自転車ではあっけなく回れそうなので歩いて回りました。3日に分けてちょうど良かったです。
- ・地元を知るキッカケになりました。
- ・今回はハガキがもらえてとても良かった。行ったことのない所へも行けた。
- ・寒い日が続きましたので、来年はもう少し早い時期に。
- ・スタンプひとつひとつがとってもかわいくて押すのが楽しみです。
- ・行楽弁当を持参し大好きな武蔵野の街を、主人とサイクリングデートが出来て素敵な時間を過ごせました。疲れましたが…
- ・秋の雰囲気の中のラリーは楽しかった。
- ・2回目の参加です。おたカフェと農工大はGPSを使い、おかげで他の道を知ることが出来、楽しかったです。ラリーポイントのカフェも楽しみでした。
- ・気分の良い秋の日差しを浴びれた。
- ・今回のエリアごとのおすすめ店舗の紹介はとても良かったです！ラリーポイントをさがす目的の他に、どのお店で休もうかと楽しみながらまわる事が出来ました。
- ・夫婦で自転車で楽しみながら回れました。次も参加します。
- ・すべて歩いて完結しました。充実と歓喜の日々でした。ありがとうございます。(88歳)
- ・多摩地区にはすばらしい公園、各種施設が豊かですね
- ・どのポイントも紅葉がとてもきれいでした。武蔵野の森公園は初めて訪れましたが、調布飛行場が一望でき、童心に帰り、しばし飛行機の離着陸をながめていました。
- ・レンタサイクルで秋の自然にふれられ気持ちものんびりになりました。
- ・スタンプの絵柄がとても上手にできていました。武蔵野、小金井、自然がいっぱい、の

どかな気持ちになりました。企画ありがとうございます。

- ・歩いたことのない道を歩いて、とても楽しかったです。
- ・武蔵野の自然を満喫しました。
- ・普段行かない所にも、広範囲に良い所があると知った。
- ・近くに素敵な場所がたくさんあることが発見できてとても楽しかったです。
- ・このスタンプラリーをきっかけに、これまで入ったことのなかった場所に入って、様々なものを見ることができました。とても楽しかったです。どうもありがとうございます。
- ・「森の地図」の名にふさわしいスタンプラリーでした。次回も是非参加したいです。
- ・このたびスタンプラリーに初めて参加いたしました。今回のスタンプラリーで、私達が住んでいる武蔵野地域についてより深く知ることができました。行く先々で、武蔵野らしい自然の原風景に出会えました。また、人々の温かな気持ちにふれあえるものとなりました。このような機会を設けていただき有難うございました。次回もぜひ参加させていただければ幸いに存じます。
- ・初めてこの催しを知りました。これからも楽しみに頑張って参加したいと思います。載っていたフレンチレストランに行きました。おいしかった。このラリーに参加しなければ知らないままだったでしょう。感謝。
- ・初めての参加です。ラリーポイントの他にもおすすめスポットが載っていて楽しめました。近所なのに知らない所が多かったです。スタンプインクがスタンプ柄に合っていて、こだわりました！
- ・普段行ったことがない場所や、周辺には行ったことがあっても気付かなかった所に行けて良かった。
- ・所在をつかむのが苦労しました。
- ・可愛いスタンプで、とても楽しめました。
- ・身近に住んでいながら、素晴らしい自然の美しさに気付きませんでした。
- ・武蔵野の自然や緑は都内でも誇るべき素晴らしい場所です。
- ・初めて訪ねた場所もあり、武蔵野ならではの秋の風景を満喫することができました。ラリーポイントに変化をもたせながら、今後も継続して開催されることを願っています。
- ・スタンプを押すのがとても楽しかったです。
- ・レンタサイクルで野川を登る様にスタンプポイントを回りました。野川ではカワセミに出会う幸運にも。
- ・地図を見ながらスタンプの場所を探して、今まで知らなかった「森」を探検できてとても有意義に過ごすことが出来、楽しかったです。又、改めて「森」をたずねてみたいと思います。素敵な企画をありがとうございました。
- ・店舗によってサービスの基準が異なりポストカードがもらえたり、もらえなかったりでガッカリしました。各スタンプポイントで統一してほしいと思います。訪れたことのない場所に行けるこの企画はとても楽しいので、また次回も是非参加させていただきたい

と思います。

- ・小金井市を中心としたハケの素晴らしさ、恵みを確認できました。
- ・多摩地区のすばらしい自然、文化に触れることができました。
- ・先着ではなく、抽選にして欲しい。
- ・この年（74 歳）になって初めてスタンプラリーをやってみました。数が少ないので何とか出来ました。楽しかったです。
- ・家族と共に楽しみました。
- ・地元の新たな発見がありました。
- ・ラリーガイドがとても役立ちましたし、記録として手元に残るのも嬉しいです。
- ・紅葉がきれいで楽しかったです。
- ・自転車でまわっちゃいました。スタンプがかわいくって、それも楽しみだった。又、参加したいです。
- ・1 日で自転車でまわったが、疲れた。
- ・他のスタンプラリーのスタンプもあり、印を間違えてしまいました。
- ・おだやかな秋の日に、家族と冒険したような気がしました。
- ・武蔵野の自然と歴史の宝さがし、サイクリングが楽しくなった。
- ・楽しく有意義なスタンプラリーで沢山新発見がありました。
- ・スタンプ 8 ケ所を 3 日間で妻と一緒に歩いて集めました。
- ・スタンプラリーはじめての参加とても楽しかったです。目的の場所をさがす事により、地域を知る事になってよい勉強になりました。
- ・この季節はどこへ行っても美しいですね。出かけるきっかけをありがとうございました。楽しかったです。
- ・天気が良い日に楽しくウォーキングができました。
- ・立ち寄ったお店のうどんが、とてもおいしかったです。楽しいウォーキングができました。

資料3 おもてなしサービス参加店舗の声（抜粋）

- ・スタンプラリーをやっているお客様の中には、お店での「おもてなし」サービスやポストカードがあることを知らず、お帰りの時に「スタンプラリーでお店をみつけて良かった」と言って帰ろうとされる方がいました。そのため、店舗での食べもののサービスを差し上げることができませんでした（ポストカードだけは渡せました）。
- ・サービスの期間をスタンプラリーの期間に限定せず、期間を長くしてもいいかと思います。
- ・スタンプラリーのMAPをお持ちの方はいらっしゃいましたが、スタンプを押した用紙を持って来店された方は少なかったです。お店付近にスタンプそのものを置いてもらえると対応しやすくなるかと感じました。
- ・店頭に「スタンプラリー実施中」と表示を置いておけば、より目を向けていただけたかもしれません。
- ・ラリーポイントでは無かったので、どのくらいの方がお見えになったのかは不明です。
- ・昔ながらの商法をしており、すべてに心をこめて素朴にやさしく丁寧を心がける事を「おもてなし」としています。スタンプラリー的な事は、あまり好みません。
- ・スタンプラリー開始時から、他店の来店状況などを知ることができたら良かったかなと思いました。
- ・「おもてなし」サービスについて聞かれることが少なかった。遠慮なさっているのか、サービスがわかりづらいのか、判断はできない（スタンプ設置店）。
- ・スタンプラリーに参加されている方は多かったですが、注文時に提示される方がおらず、お店で用意したサービスを実施できませんでした（スタンプ設置店）。
- ・繁忙期と重なっていたため、業務に追われてしまい、声掛けやおもてなしサービス実施のポップなどが作れなかった（スタンプ設置店）。
- ・すべてのメニューに対応した「おもてなしサービス」を設定することが難しかった。
- ・小さいお子さんからお年寄りの方まで、皆様楽しそうにスタンプを押していました（スタンプ設置店）
- ・スタンプが何個押してあればサービスを実施できるのか、分かりにくかった。